

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日  
上場取引所 東

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社  
 コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名)加賀谷 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名)尾崎 秀彦 TEL 03-3448-7000  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	357,930	△8.2	16,967	△39.1	18,138	△37.2	11,648	△38.8
2022年3月期第3四半期	389,873	5.1	27,875	23.2	28,866	21.1	19,046	13.5

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 11,554百万円 (△40.1%) 2022年3月期第3四半期 19,292百万円 (7.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	95.45	95.38
2022年3月期第3四半期	153.09	152.85

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	498,572	339,609	67.1
2022年3月期	524,062	343,489	64.5

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 334,405百万円 2022年3月期 338,031百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	580,000	△1.5	38,000	△11.6	39,000	△11.4	26,000	△11.0	213.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	141,000,000株	2022年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	19,810,174株	2022年3月期	18,575,585株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	122,033,856株	2022年3月期3Q	124,415,765株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下、社会経済活動が正常化に向かいつつあり、景気の持ち直しが期待されておりますが、国内外の感染状況、エネルギー価格及び原材料価格の高騰、各種部材不足など供給面での制約、また、金融資本市場の変動等に引き続き注視する必要があります。

コムシスグループを取り巻く事業環境につきましては、通信インフラ分野においては、デジタル田園都市国家構想の推進において地域のデジタル化を加速させるため、光ファイバ及び5G等のデジタルインフラ整備が進められております。社会インフラ分野においては、近年の激甚化・頻発化する自然災害、インフラ老朽化に対応した地域の防災・減災、国土強靱化施策の推進、再生可能エネルギーの主力電源化をはじめとする2050年カーボンニュートラルの実現に向けた成長投資が期待されております。ITソリューション分野においては、社会全体のDX実現に向けた全国規模の情報プラットフォーム構築による医療・介護、教育分野のDX推進、データ連携基盤構築による行政・公共分野のデジタル化の推進など、デジタル基盤の整備が進められております。

コムシスグループといたしましては、通信インフラ分野においては、高度無線環境整備推進事業等大型プロジェクト及びモバイル関連工事の減少など厳しい事業環境の中、コムシスグループ全体最適化を目指したエリアマネジメント体制の強化、モバイル事業におけるグループリソースの有効活用による事業領域拡大、アクセス・モバイル事業一体運営に向けた複合技術者育成など事業基盤強化に取り組んでまいりました。また、ITソリューション・社会システムの成長分野においては、工事部材等の納入遅延による工事進捗の遅れ、原材料価格高騰による採算性低下など業績への影響が出ておりますが、バーチャルカンパニーを活用した受注拡大、施工業務の効率化による生産性向上など、利益確保に向け取り組んでまいりました。今後とも、事業環境に応じたフォーメーション最適化、DXを活用した構造改革の他、サステナビリティの取り組みを進展させ、引き続きコムシスグループの持続的成長を図ってまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高402,309百万円（前年同期比0.3%減）、売上高は357,930百万円（前年同期比8.2%減）となりました。また、損益につきましては、営業利益は16,967百万円（前年同期比39.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,648百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益 [営業利益]】

(単位：百万円)

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 [営業利益]	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	176,624	△5.2%	155,980	△15.7%	3,524	△71.3%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	48,397	8.9%	44,212	5.9%	4,136	△0.9%
TOSYSグループ	24,267	10.5%	21,461	5.9%	977	10.1%
つうけんグループ	48,048	15.7%	40,316	0.5%	3,417	△11.6%
NDSグループ	58,706	△8.6%	55,660	△5.1%	2,470	△25.1%
SYSKENグループ	23,929	13.4%	19,131	△12.6%	636	△47.3%
北陸電話工事グループ	11,731	△8.9%	11,185	△6.4%	416	△5.1%
コムシス情報システムグループ	9,142	△4.4%	8,518	△2.1%	923	△30.8%

(注) 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ25,490百万円減少し498,572百万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ21,610百万円減少し158,962百万円となっております。

また、純資産は、剰余金の配当による利益剰余金の減少及び自己株式の取得などにより前連結会計年度末に比べ3,879百万円減少し、339,609百万円となりました。

この結果、自己資本比率は67.1%（前連結会計年度末は64.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年11月10日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	35,107	63,692
受取手形・完成工事未収入金等	222,954	121,346
未成工事支出金等	46,027	86,256
その他の棚卸資産	5,544	5,922
その他	12,692	20,750
貸倒引当金	△109	△107
流動資産合計	322,216	297,861
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	45,338	44,057
土地	70,714	70,077
その他（純額）	29,329	28,665
有形固定資産合計	145,382	142,800
無形固定資産		
のれん	2,261	1,921
その他	5,587	5,019
無形固定資産合計	7,848	6,941
投資その他の資産		
投資有価証券	22,890	25,508
その他	26,135	25,877
貸倒引当金	△411	△417
投資その他の資産合計	48,615	50,969
固定資産合計	201,846	200,711
資産合計	524,062	498,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	87,514	60,941
短期借入金	31,845	24,292
未払法人税等	4,967	1,867
未成工事受入金	11,585	22,237
引当金	2,757	3,414
その他	20,093	24,782
流動負債合計	158,764	137,535
固定負債		
長期借入金	486	208
再評価に係る繰延税金負債	1,213	1,213
退職給付に係る負債	14,200	14,453
役員退職慰労引当金	628	562
環境対策引当金	400	400
その他	4,880	4,589
固定負債合計	21,809	21,426
負債合計	180,573	158,962
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	92,700	93,113
利益剰余金	279,157	278,594
自己株式	△40,851	△44,331
株主資本合計	341,006	337,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,117	3,185
繰延ヘッジ損益	0	△182
土地再評価差額金	△8,250	△8,250
退職給付に係る調整累計額	2,157	2,277
その他の包括利益累計額合計	△2,975	△2,970
新株予約権	795	890
非支配株主持分	4,662	4,313
純資産合計	343,489	339,609
負債純資産合計	524,062	498,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	389,873	357,930
売上原価	336,123	314,331
売上総利益	53,750	43,599
販売費及び一般管理費	25,874	26,631
営業利益	27,875	16,967
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	840	847
固定資産賃貸料	208	228
その他	364	394
営業外収益合計	1,430	1,488
営業外費用		
支払利息	18	21
新型コロナウイルス感染症関連費用	122	89
賃貸費用	117	74
その他	181	131
営業外費用合計	439	317
経常利益	28,866	18,138
特別利益		
投資有価証券売却益	219	24
固定資産売却益	21	26
関係会社株式売却益	—	218
負ののれん発生益	170	28
事業譲渡益	210	—
抱合せ株式消滅差益	182	—
その他	63	41
特別利益合計	867	339
特別損失		
固定資産除却損	61	153
固定資産売却損	8	143
事業構造改革費用	252	98
損害補償損失引当金繰入額	444	—
その他	161	106
特別損失合計	928	502
税金等調整前四半期純利益	28,804	17,976
法人税等	9,677	6,425
四半期純利益	19,126	11,550
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	79	△97
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,046	11,648



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	19,126	11,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	66
繰延ヘッジ損益	△0	△183
退職給付に係る調整額	227	120
その他の包括利益合計	165	3
四半期包括利益	19,292	11,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,209	11,653
非支配株主に係る四半期包括利益	82	△99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末より3,480百万円増加し、44,331百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

① 株式交換

当社は2022年7月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、株式会社ワールドエコを株式交換完全子会社とする株式交換を実施し、自己株式1,072千株を交付いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が398百万円増加し、自己株式が2,373百万円減少しております。

② 自己株式の取得

当社は2022年5月12日開催の取締役会の決議に基づき、2022年5月13日から2022年10月11日までの期間に自己株式1,964千株を取得しております。また、2022年11月10日開催の取締役会の決議に基づき、2022年11月11日から2022年12月31日までの期間に自己株式408千株を取得しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,999百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。